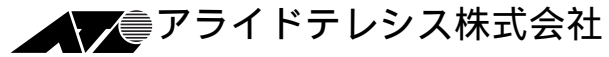

< 正誤表 >

CentreNET PC/TCP Ver. 6.0

文書番号 : *p601.manual.seigo ver 1.0 pl 0 Jun.1996*



この度は、CentreNET PC/TCP Ver.6.0 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。CentreNET PC/TCP Ver.6.0 の User's Guide Manual, Command Reference Manual, InterDrive Manual に誤りがございましたので、次のように訂正いたします。

1. User's Guide Manual

1) P11

誤

注意

ethdrv を UMB、HMA 領域にロードしないでください。

正

注意

MS-DOS の LOADHIGH コマンドを使用して ethdrv を UMB、HMA 領域にロードしないでください。UMB の使用については Command Reference の ETHDRV のオプション説明をご覧ください。

2. Command Reference Manual

1) P17

削除

-x パケットドライバのインタラクトベクタをフックしません。

2) P41

削除

slip SLIP ドライバと SLIP の統計情報を 16550 UART 統計で表示します。

3) P104

誤

ppp [-b baud][-l][-k][-m][-n number][-p com-port]

ppp [-s bit][-t][-u][-v sector][-y style][-z size]

正

ppp [-b baud][-l][-k][-K][-c][-m][-n number][-p com-port]

ppp [-t][-u][-v sector][-z size]

4) P105

追加

-K PAP と CHAP 機能を有効にします。

-c パソコンのデバイステーブルの排他制御をします。(DOS/V 用のみ)

削除

-s bit

シリアルポートのストップビットを設定します。1、2 が設定できます。デフォルトは1です。

5) P106

削除

-y style

シリアルポートのパリティを設定します。even、odd、none が設定できます。デフォルトは none です。

6) P116

誤

```
rcp[-r] [-a|-b] [-d] [-m prot_mask][[user@]host:]remote_file local_file  
rcp[-r][[-a|-b][[-d][[-m prot_mask]local_file[[user@]host:] remote_file
```

正

```
rcp [-r] [-a|-b] [-h sle] [-m prot_mask][[user@]host:] remote file local_file  
rcp [-r][[-a|-b][[-h sle] [-m prot_mask] local file [[user@]host:] remote_file
```

追加

-h 漢字コードを指定します。
s = SHIFT JIS
e = EUC

削除

-d デバッグモードにします。詳細な情報が表示されます。

7) P126

削除

-s bit

シリアルポートのストップビットを設定します。1、2 が設定できます。デフォルトは1です。

-y style

シリアルポートのパリティを設定します。even、odd、none が設定できます。デフォルトは none です。

3. InterDrive Manual

1) P6

誤

詳細は、User's Guide Manual 第2章「インストール」をご覧ください。

正

詳細は、別冊のリリースノート「3. インストールについて」をご覧ください。

2) P6

誤

device=c:¥pctcp¥atklpt.sys

正

device=c:¥pctcp¥atklpt.exe